

東京女子大学

T 167-8585
 東京都杉並区善福寺2-6-1
 広報課
 TEL 03-6606-6476
<http://www.twcu.ac.jp/>



東京女子大学は1918年に、「日本の女性に高等教育を」という呼びかけによる北米のプロテスタント諸教派の援助によって開学し、キリスト教の精神に基づきリベラル・アーツ教育を一貫して実践してきました。「東京女子大学グランドビジョン」に基づき、人類・社会に貢献する「専門性をもつ教養人」を育てる女子高等教育が進められています。

茂里学長は、多様性と変化そして不確かさの近未来社会にあつてこそリベラル・アーツ教育は重要であると認識し、「挑戦する知性—未来につながるリベラル・アーツ」をタグラインとして掲げ、「国際化と実践性を重視し、さまざまな人と共生し、知的で行動力のある豊かな人格をもつ女性を育てていきたい」と抱負を語ります。



茂里一統学長

「挑戦する知性—未来につながるリベラル・アーツ」 国際的な視野と行動力を兼ね備えた 「専門性をもつ教養人」を育成する

女子大学だからこそ女性が 真正正銘の力を獲得できる

東京女子大学の歴史は、初代学長の新渡戸稲造と学監の安井てつがキリスト教の精神を基礎としたリベラル・アーツ教育による女子教育を指したことに始まります。

「女性が高等教育の機会を得ること自体が困難だった時代に、新渡戸稲造や安井てつは、「豊かな教養に基く幅広い視野と高い専門性を身につけた自立した女性を育てたい」という情熱を持っていました。時代は変わっても、今の日本社会において女性が活躍するのはまだまだ難しい状況です。女子だけの世界で4年間学ぶことにより、女性ならではの問題をストレートに語り合い、真正正銘の能力を鍛えてほしい。そうした学びを通じて英知と行動力を備えた女性を輩出することが本学の務めだと考えています」と、茂里学長は現代の女子高等教育の意義を説きます。

専門性を深めるための 学科・専攻

現代教養学部には、2018年度に「国際英語学科」^①と「心理・コミュニケーション学科」^②の2学科が

新設され、国際社会学科に「コミュニケーション構想専攻」が開設されました。5学科・12専攻編成の文系から理系までそろった学部です。入学時から学科・専攻を明確にすることによって、学びの専門性を深めます。

国際英語学科には、国際的視野を育みながら、英語教育や翻訳・通訳など実践力を強化するプログラムがあります。2年次後期には、必修科目としての海外研修（留学）の履修によって、語学力に加えて英語を用いて行動する力をつけます。卒業論文は英語で仕上げます。

心理・コミュニケーション学科には心理学とコミュニケーションの専攻があります。コミュニケーション専攻では情報やメディア、多文化コミュニケーションを学びます。心理学専攻では、臨床心理士に加え、公認心理師の資格取得の準備ができます。国際社会学科のコミュニケーション構想専攻では、学科の特徴である調査やフィールドワークに加えて、実習やインターンシップなどの実践を通じて課題解決力、コミュニケーションをデザインする力を身につけます。

知の体幹を鍛える リベラル・アーツ教育の伝統

各学科・専攻の専門科目と同時に学ぶのが全学共通カリキュラムです。リベラル・アーツ教育は、この二つの領域をあわせて多様な分野の科目を学び、自由な心と幅広い視野を得ることを目的としています。

育もままならない地域があります。アジアの人々との共生を意識したワークキャンプやボランティア、そして留学生の受け入れは、100年前、日本の女子高等教育に対する北米の方々の高い志でスタートした本学の第2世紀の重要な役割だと考えます」と茂里学長は語ります。

女性の生き方を応援する 充実サポート

キャリア教育は、正課と正課外教育との連携によって展開しています。少数ゼミでの議論・発表や女性学やジェンダーに関する科目群は、女性の自己確立を促すものです。「女性のウェルネス」科目は、生涯を通じて女性の健康のための学びです。正課外の学びとして、年間150回を超えるセミナーや講座が開催されています。きめ細かなサポートで昨年度卒業生の就職率は99.4%でした。卒業後もエンパワーメント・センターにおいて、生涯にわたる

キャリア構築を支援しています。東京女子大学独自の奨学金については給付型奨学金制度を充実させており、2020年度から予約型給付奨学金制度を開始し、従来の制度をリニューアルして「東京女子大学給付奨学金」「安井てつ給付奨学金」を新設します。また、知のかけはし入学試験受験者を対象とする「挑戦する知性」奨学金、世界トップクラス大学の留学に挑戦する学生を年間600万円まで支援する「新渡戸稲造国際奨学金」などがあります。

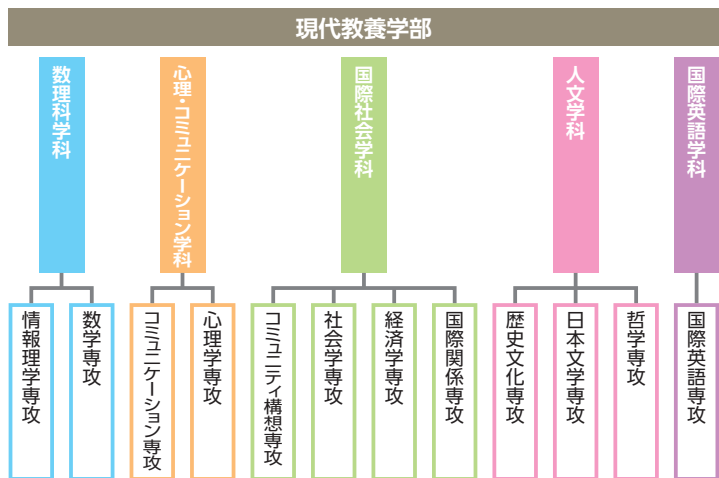
入学試験

東京女子大学では、多面的・総合的に受験生を評価する「知のかけはし入学試験」^③を実施しています。一般入学試験における「英語外部検定試験利用型」も実施しており、受験生にとって合格の可能性が広がっています。

茂里学長は「4年間、本学の緑あふれるキャンパスでのびのびと学び、高い志をもって社会に大きく飛躍してください」とメッセージを送っています。

挑戦する知性

東京女子大学は1918年の建学以来、一貫してキリスト教主義に基づくリベラル・アーツ教育を行ってきました。大切なのは「学ぶことを学ぶ力」。第2世紀となるこれから一人ひとりを大切に教育で、主体的に学び、学び続ける姿勢をもって、人類・社会に貢献する女性を育成していきます。



(1) 東京女子大学グランドビジョン

建学の精神であるキリスト教主義に基づく人格教育により、「専門性をもつ教養人」として21世紀の人類・社会に貢献する女性を育てるために定める指針。育成する人物像として「知力（知識）を行動力にするリーディングウーマン」「国際的な視野をもった地球市民としての女性」「専門性と幅広い教養をもった女性」「キャリアをカスタマイズする女性」「21世紀の高度情報化社会に対応できる女性」の5つを掲げている。

(2) 国際英語学科

国際共通語としての英語を学ぶとともに、英語教育や翻訳・通訳などの実践的分野の力を育てる。イングリッシュ・スタディーズ・コース、英語教育コース、英語キャリアコースの3コースがあり、3つのコースを横断的に学ぶことができる。2年次後期に半年間の海外研修（スタディ・アブロード）を必修とする。

(3) 全学共通カリキュラム

「リベラル・スタディーズ」と「アカデミック・スキル科目」で構成される。前者は、専門領域を超えた知識・能力を身につける「総合教養科目」、女性の起業、ニューヨーク国連研修など体験的・実践的な学びの「挑戦する知性科目」、そして「キリスト教科目」で構成される。「アカデミック・スキル科目」では大学で学ぶための方法や基礎的な能力を修得する。

(4) 学寮

キャンパス内には、「桜寮」（定員190名）と「楓寮」（定員99名）の2つの学寮がある。いずれも家具、家電、インターネットが完備され、食事も提供される。学生により自主的に運営されている。

(5) 知のかけはし入学試験

単に知識を問うものではなく、英語外部検定試験の成績、受講した講義のノートや、小論文、グループディスカッション、面接などから多面的・総合的に評価する。合格者は希望すれば「挑戦する知性」奨学金または知のかけはし学寮奨学金が4年間授与される。